

2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月10日

上場会社名 松尾電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6969 URL <https://www.ncc-matsuo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 常俊 清治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員総務経理部門長 (氏名) 網谷 嘉寛

TEL 06-6332-0871

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,465	3.4	414	16.1	401	14.0	270	
2022年3月期第3四半期	3,587	33.0	494	275.3	466	308.0	353	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	84.20	
2022年3月期第3四半期	137.47	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,691	2,244	33.5
2022年3月期	6,426	1,974	30.7

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 2,244百万円 2022年3月期 1,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,650	1.3	500	22.1	470	17.3	320		99.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	3,210,000 株	2022年3月期	3,210,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	2,650 株	2022年3月期	2,484 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	3,207,415 株	2022年3月期3Q	2,569,715 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間のエレクトロニクス業界の状況は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に波はあるものの行動制限が緩和され経済活動の正常化が進んでおりますが、一方でロシアによるウクライナ侵攻をめぐる国際情勢不安の長期化、急激な為替変動、原材料価格やエネルギー価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで、当社は、「成長への転換」をテーマとした中期経営計画（2022年3月期から2024年3月期まで）の2年目を迎えました。

当社の売上高は前年同期に比べて微減となりました。その主な要因としては、タンタルコンデンサは、産業用電子機器向けのリード付きタンタルコンデンサ及びカーエレクトロニクス向けの需要の減少によるものであり、回路保護素子は、カーエレクトロニクス向けの需要の増加があったものの、リチウムイオン電池向けの高電流ヒューズの需要の減少があったことによるものです。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,465百万円（前年同四半期比3.4%減少）となりました。損益につきましては、生産効率の改善に努めたものの、光熱費及び研究開発費の増加により営業利益414百万円（前年同四半期比16.1%減少）、経常利益401百万円（前年同四半期比14.0%減少）となりました。なお、四半期純利益は独占禁止法等関連損失の計上額が大幅に減少したことにより270百万円（前年同四半期比623百万円改善）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① タンタルコンデンサ事業

タンタルコンデンサ事業につきましては、産業用電子機器向けのリード付きタンタルコンデンサ及びカーエレクトロニクス向けの需要が減少しました。この結果、タンタルコンデンサ事業の売上高は、2,489百万円（前年同四半期比3.6%減少）、セグメント利益は、370百万円（前年同四半期比19.3%減少）となりました。

② 回路保護素子事業

回路保護素子事業につきましては、カーエレクトロニクス向けの需要の増加があったものの、リチウムイオン電池向けの高電流ヒューズの需要が減少しました。この結果、回路保護素子事業の売上高は、820百万円（前年同四半期比5.2%減少）、セグメント利益は、305百万円（前年同四半期比7.2%減少）となりました。

③ その他

その他の売上高は、156百万円（前年同四半期比12.2%増加）、セグメント利益は33百万円（前年同四半期比123.0%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、原材料及び貯蔵品並びに有形固定資産の増加等により6,691百万円（前事業年度末比264百万円増加）となりました。

負債は、仕入債務の増加及び未払金の減少等により4,446百万円（前事業年度末比5百万円減少）となりました。

純資産は、四半期純利益の計上等により2,244百万円（前事業年度末比269百万円増加）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績等を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期通期業績予想を修正しました。詳細については、本日公表しました「2023年3月期業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,838,472	1,809,290
受取手形及び売掛金	843,540	809,148
電子記録債権	477,187	523,564
製品	714,964	626,057
仕掛品	336,808	390,342
原材料及び貯蔵品	278,886	442,124
その他	30,177	48,845
貸倒引当金	△1,322	△1,332
流動資産合計	4,518,714	4,648,040
固定資産		
有形固定資産	1,541,854	1,712,688
土地	687,308	687,308
その他(純額)	854,545	1,025,380
無形固定資産	245,967	207,965
投資その他の資産	120,348	122,330
投資有価証券	15,000	15,000
その他	105,349	107,331
貸倒引当金	△1	△0
固定資産合計	1,908,170	2,042,984
資産合計	6,426,884	6,691,024

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	302,343	436,469
電子記録債務	187,333	238,074
短期借入金	1,430,000	1,430,000
1年内償還予定の社債	22,600	22,600
1年内返済予定の長期借入金	111,336	123,934
未払法人税等	62,596	-
設備関係支払手形	31,990	75,390
その他	563,203	413,418
流動負債合計	2,711,402	2,739,886
固定負債		
社債	98,500	87,200
長期借入金	765,347	675,230
長期未払金	367,170	359,950
退職給付引当金	475,217	475,318
資産除去債務	7,908	7,908
その他	27,196	101,456
固定負債合計	1,741,339	1,707,063
負債合計	4,452,742	4,446,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,469,365	2,469,365
資本剰余金	552,439	552,439
利益剰余金	△1,045,522	△775,452
自己株式	△2,140	△2,277
株主資本合計	1,974,142	2,244,075
純資産合計	1,974,142	2,244,075
負債純資産合計	6,426,884	6,691,024

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	3,587,518	3,465,517
売上原価	2,457,913	2,362,338
売上総利益	1,129,604	1,103,178
販売費及び一般管理費	635,571	688,553
営業利益	494,033	414,625
営業外収益		
受取利息	45	32
受取配当金	500	500
為替差益	—	2,500
その他	1,795	1,548
営業外収益合計	2,341	4,581
営業外費用		
支払利息	15,874	15,240
為替差損	12,705	—
その他	1,511	2,741
営業外費用合計	30,091	17,982
経常利益	466,283	401,224
特別損失		
固定資産除却損	543	928
固定資産売却損	2,846	—
独占禁止法等関連損失	782,660	123,621
特別損失合計	786,049	124,549
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△319,766	276,674
法人税、住民税及び事業税	33,493	6,604
法人税等合計	33,493	6,604
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△353,259	270,070

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方及び収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。